



2018年10月31日

各 位

会 社 名 株式会社ワコールホールディングス
代表者名 代表取締役社長 安原 弘展
(コード番号3591 東証第1部)
問合せ先 取締役経営企画部長 宮城 晃
(TEL 075-682-1010)

2019年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2018年5月15日に公表いたしました2019年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想(2018年4月1日～2018年9月30日)と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値と実績値との差異について

	売上高	営業利益	税引前 四半期 純利益	当社株主に 帰属する 四半期 純利益	1株当たり 当社株主に 帰属する 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	103,000	8,000	9,500	7,000	104.08
実績値(B)	101,815	8,994	16,311	11,391	170.35
増減額(B-A)	△1,185	994	6,811	4,391	
増減率(%)	△1.2	12.4	71.7	62.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	101,976	9,511	11,005	7,437	108.88

(注) 会計方針の変更に伴い、当連結会計年度より、期間年金費用及び期間退職給付費用の表示に関する規定(ASU2017-07)を適用しております。この規定の適用により、前第2四半期連結累計実績を遡及修正しております。

2. 修正の理由

各オペレーティング・セグメントの業績は概ね想定の範囲内で推移しておりますが、第2四半期連結累計期間におきまして、当社および当社連結子会社が保有する持分証券の公正価値を評価した結果、評価益 5,660 百万円を連結損益計算書のその他の収益に区分される有価証券・投資評価損益（純額）に計上したことにより、税引前四半期純利益及び当社株主に帰属する四半期純利益が前回発表の連結業績予想を大幅に上回りました。

なお、2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、期末における持分証券の公正価値を予測することが困難なため、現時点では2018年5月15日に発表しました業績予想に変更はありません。

（ご参考）2019年3月期連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）及び前期連結実績

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当社株主に 帰属する 当期純利益
当期連結業績予想 （2019年3月期）	百万円 200,000	百万円 10,000	百万円 13,000	百万円 10,000	円 銭 149.55
前 期 実 績 （2018年3月期）	195,725	11,494	14,286	9,745	143.46

（注）上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上